



令和4年度 創薬ベンチャーエコシステム強化事業 ／ベンチャーキャピタルの認定

公募説明

令和4年3月

日本医療研究開発機構 実用化推進部

目次

1. 事業について
 1. 事業概要(背景)
 2. 事業概要(目的)
2. 公募について
 1. 公募の概要
 2. 応募要件・遵守事項等
 3. 評価項目
 4. 公募期間・選考スケジュール
 5. 申請時の注意点
3. 応募手続きについて
 1. 全体スケジュール・提出期限
 2. 必要な提案書類
 3. 申請書様式の入手方法
 4. 提案書類の提出方法
 5. 提案書類の受理及び申請書等に不備があった場合
4. 支援対象となる創薬ベンチャー(参考)
 1. 支援対象となる創薬ベンチャー
 2. 研究開発の規模・期間・採択予定数
5. 申請書の書き方
 1. 申請書様式の入手
 2. 申請書の内容
 3. 提案書類アップロード用ファイルの作成
 4. 申請書記載方法: チェックリスト
 5. 申請書記載方法: 表紙
 6. 申請書記載方法: 項目1: 法人等の概要
 7. 申請書記載方法: 項目2: 出資実績
 8. 申請書記載方法: 項目3: 本事業にかかる支援計画(1)(2)
 9. 申請書記載方法: 項目3: 本事業にかかる支援計画(3)(4)
 10. 申請書記載方法: 項目4: その他
 11. 申請書記載方法: 必須要件確認シート
6. お問い合わせ先

1. 事業について

1-1 事業概要(背景)

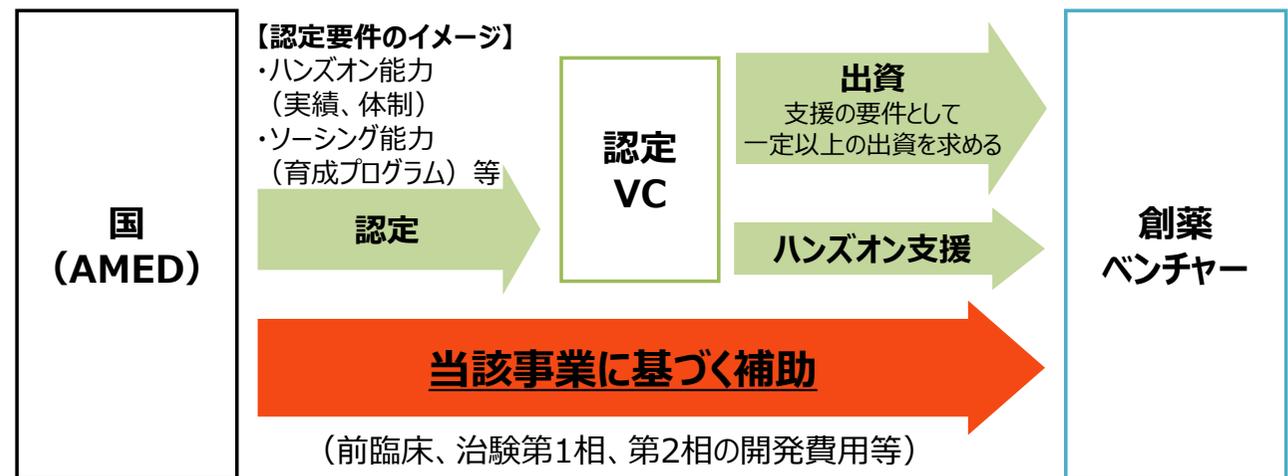
公募要領 1ページ

- ワクチンを国内で開発・生産出来る力を持つことは、国民の健康保持への寄与はもとより、外交や安全保障の観点からも極めて重要です。このため、長期継続的に取り組む国家戦略として「ワクチン開発・生産体制強化戦略」が令和3年6月に閣議決定されました。
- 近年の新薬の大半は創薬ベンチャーが開発したものであり、今般のパンデミックに際していち早くワクチン開発に成功したのも創薬ベンチャーです。新薬の開発には多額の資金を要しますが、我が国の創薬ベンチャーエコシステムでは、欧米等と比較しても、必要な開発資金を円滑に確保しづらいのが現状です。

1-2 事業概要(目的)

公募要領 1ページ

- 本事業では、大規模な開発資金の供給源不足を解消するため、創薬に特化したハンズオンによる事業化サポートを行うVCを認定し、その認定したVC(以下「認定VC」という。)による出資を要件として、前臨床、治験第1相、第2相の開発段階にある創薬ベンチャーが実施する実用化開発を支援します。

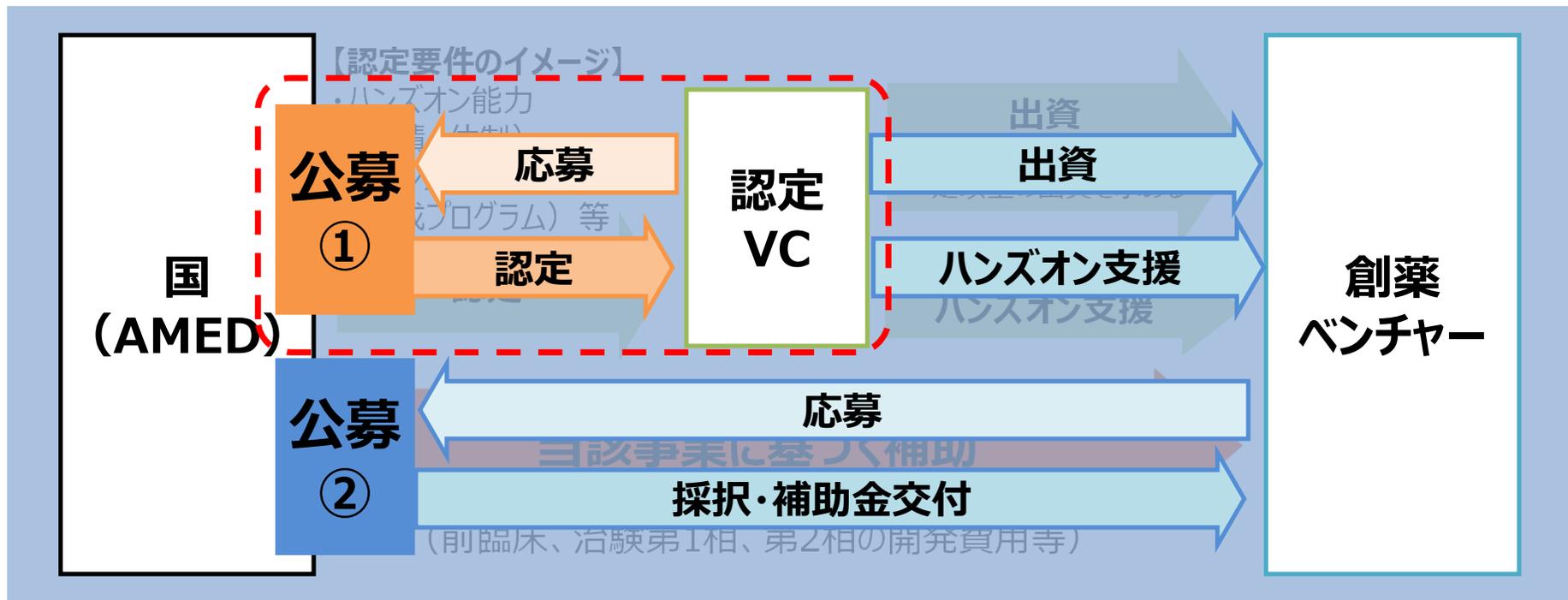


2. 公募について

2-1 公募の概要

公募要領 2ページ

- 公募は2段階で行います。
 - ・ AMEDが認定するVCの公募(①VC公募)と、認定VCが出資する創薬ベンチャーの公募(②ベンチャー公募)
- 今回は①VC公募になります(赤点線枠)



2-1 公募の概要

公募要領 2ページ

- AMEDが、前臨床～治験第2相の、感染症のワクチン・治療薬の開発のための、又は将来的に感染症のワクチン・治療薬開発に転用できる可能性のある、革新的な技術開発を行う創薬ベンチャーの支援に適したVCを公募し、認定します。(①VC公募)
 - ▶ 本事業では、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律上の治験に限らず、健常人又は患者を対象として安全性の確認や有効性の探索を行う臨床試験も対象となります。
- 認定されたVCは、令和4年度創薬ベンチャーエコシステム強化事業第1回公募(令和4年7月頃公募予定)に応募する創薬ベンチャーに出資する認定VCとして本事業に参加することが可能となります。
 - ▶ 認定VCから一定の出資を受ける創薬ベンチャーは、本事業の創薬ベンチャーの公募(②ベンチャー公募)への応募が可能になります。その際認定VCは、本公募に係る申請書に記載のファンドを用い、また申請書に記載のハンズオンメンバーを指名することを要します。
- 認定期間：認定日～令和5年度末(令和6年3月31日)

2-2 応募要件・遵守事項等

公募要領 3ページ

応募要件

- 業としてベンチャー企業への投資機能を有し、創薬ベンチャーの事業化支援機能を有する法人(ベンチャーキャピタル、コーポレートベンチャーキャピタル※)であること。
 - ※ 投資事業を主としない法人の本体勘定から直接出資を行う場合は除きます。
- 日本国内において、創薬ベンチャーの事業化を支援する拠点を有し、創薬ベンチャーをハンズオン支援できる常駐スタッフを配置していること。
- 親会社、子会社を含め、暴力団、暴力団構成員、暴力団関係企業若しくは関係者、総会屋、その他反社会的勢力(以下「反社会的勢力」という。)に該当しないこと、又は反社会的勢力に係る者と関与がないこと。
- 認定契約書※に定められた事項に同意し、認定を受けたら認定契約書を締結すること。
 - ※ 認定を受けるVCは認定契約書を締結していただきます。認定契約書は近日中に公募情報HPに掲載予定です。(公募情報HP https://www.amed.go.jp/koubo/19/02/1902B_00003.html)

2-2 応募要件・遵守事項等

公募要領 3ページ

認定VCの遵守事項

- 対象技術領域の創薬ベンチャーの発掘・支援や、日本の創薬ベンチャーエコシステムの強化、グローバルな創薬コミュニティとの連携強化につながる取り組みを積極的に促進すること。
- 採択された創薬ベンチャーと良好な関係を築き、提出した支援計画書に沿ったハンズオンによる支援を行い、採択された創薬ベンチャーの価値が最大化されるような形でその事業化を促進すること。
- 本事業の補助金交付期間中の創薬ベンチャーの資金繰り及び資本政策を健全に(資金不足による事業への影響が出ないように)保ち、研究開発計画書に沿った医薬品開発の進展及び採択された創薬ベンチャーの事業拡大を目指すこと。
- 次にファンドを組成する際の調達額を増額するよう努めること。
- 採択された創薬ベンチャーから、ハンズオンによる支援及びその他の支援に係る指導料、手数料その他の料金を徴収しないこと。
- 本事業を利用し、採択された創薬ベンチャーの今後の事業展開を不当に制限するような契約を締結しないこと。
 - ◆ 「我が国における健全なベンチャー投資に係る契約の主たる留意事項」(平成30年3月経済産業省)参照
<https://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180402006/20180402006-1.pdf>
- 投資先の創薬ベンチャーの事業計画等、業務上知り得た情報の適切な保護を図ること。
- ハンズオン支援の進捗を定期的(及びAMEDからの求めに応じ)にAMEDに報告すること。
- AMEDからのアンケート、及び企業情報・活動状況等のAMEDのホームページへの掲載等、情報公開に協力すること(公表時には、掲載内容について、事前に確認いただきます)。
- その他、認定契約書で定める事項。

2-2 応募要件・遵守事項等



公募要領 4ページ

AMEDへの納付義務

- 補助金交付対象の創薬ベンチャーに出資する認定VCが、本事業の補助金の交付決定を受けてから1年以内※¹に株式を売却した場合※²、売却額の最大2/3※³をAMEDに納付しなければなりません。
 - ※¹ 採択又はステージゲート通過後、新たにAMEDから交付決定を受けた場合にその日から1年以内
 - ※² 製薬企業(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和三十五年法律第百四十五号)に基づく医薬品の製造販売業者若しくは製造業者、若しくは再生医療等製品の製造販売業若しくは製造業、又は業として医薬品開発若しくは再生医療等製品開発を行う研究開発型の事業者)に株式を売却する場合は対象外
 - ※³ $\text{納付額} = \text{売却額} \times \{ \text{本事業による補助額} / (\text{本事業による補助額} + \text{全認定VC出資額}) \}$

認定の取り消し要件

- ① 応募要件に合致しなくなった場合
- ② 遵守事項を遵守していないと認められた場合
- ③ 採択された創薬ベンチャーにリードVCとして出資する認定VCであって、前頁のAMEDへの納付義務を課された場合
- ④ 提案書類に虚偽があると判明した場合
- ⑤ 一定期間、実質的に本事業を活用していない場合
- ⑥ AMEDが認定を継続することが著しく適切ではないと認めた場合
- ⑦ その他、認定契約書で定める事項に該当する場合

2-3 評価項目

公募要領 5ページ

- 事業目的との適合性
 - ▶ 法人の概要、VCとしての重点領域、出資実績、投資指標など
- 資金調達への対応力
 - ▶ 本事業において活用する予定のファンドの概要、投資余力、今後のファンド設立計画など
- ソーシング能力
 - ▶ 創薬分野でのソーシング活動の内容・実績(育成プログラム、シード期・アーリー期の資金支援、客員起業制度、ウェットラボ・貸しオフィス等)、投資検討状況など
- ハンズオン能力
 - ▶ ハンズオン活動の内容・実績(経営支援、人材支援、製薬企業等の販路紹介、海外協業先紹介等)、ハンズオンメンバーの経験・実績など

2-3 評価項目：必須要件

前頁項目の審査に当たり、以下の点については必須要件とします。

公募要領 5・6ページ

- ① 直近5年間でVCとしての全投資金額のうち、1／3以上を創薬分野に投資していること
- ② リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーが行う治験を支援した実績があること
- ③ リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーに取締役を派遣すること、その他、本事業の目的に則したベンチャーの成長に資する優れたハンズオン支援を行っていること
- ④ 投資の意思決定を行うメンバー※1の担当案件数が、各5件以下※2であること
- ⑤ 投資の意思決定を行うメンバー※1に、製薬企業等において医薬品開発を行った経験(薬事・BD(事業計画)・開発企画等)を有する人材、又は医薬品開発を進める上で重要な経験(PMDA、FDA等の機関における審査等)を有する人材がいること
- ⑥ 投資の意思決定を行うメンバー※1に、グローバルでの医薬品開発に携わった経験(グローバルでの治験を行った経験、グローバルでの治験をハンズオン支援した経験等)を有する人材がいること

※1 ジェネラル・パートナー、パートナー等

※2 投資後一定期間が経過し、順調に事業が進行しているなど、ハンズオン支援の必要性が低くなっている案件は除く

なお、新規に設立するVCであって、所属する個人の過去の実績及びVC設立に係る事業計画に鑑みて、上記①～⑥に相当すると認められる場合には、認定の対象といたします。

2-4 公募期間・選考スケジュール



公募要領 6ページ

提案書類受付期間	令和4年3月17日(木)～令和4年4月19日(火)【正午】(厳守) ※ 申請の意思表示締め切り :4月12日(火)【正午】(厳守) ※ 提案書類アップロード締め切り :4月19日(火)【正午】(厳守)
書面審査	令和4年4月下旬～5月中旬(予定)
ヒアリング審査	令和4年6月1日(水)、6月2日(木)(予定)
審査結果通知	令和4年6月下旬(予定)

認定結果の公表及び通知について

- ◆ 認定VCの法人名称は、後日、AMEDのホームページ等で公開します。また、審査結果については、別途申請者へ書面で通知します。
- ◆ 認定に当たっては、諸般の条件を付す場合があります。

2-5 申請時の注意点

公募要領 6ページ

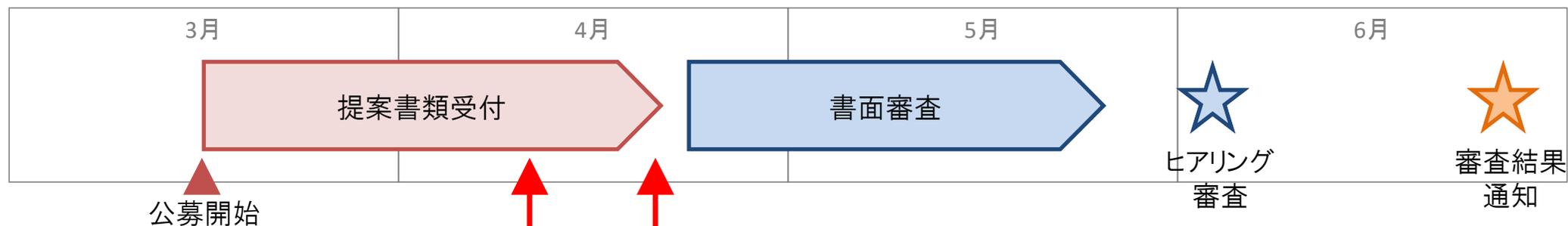
- ✓ 全ての提案書類について、期限を過ぎた場合には一切受理できませんので注意してください。
- ✓ 提案書類に不備がある場合は、不受理となる場合があります。
- ✓ 提案書類受付期間終了後、申請者に対して、AMEDが電子メールや電話等事務的な確認を行う場合があります。当該確認に対しては、AMEDが指定する方法で速やかに回答してください（回答が得られない場合は当該申請が審査対象から除外されることがあります）。
- ✓ ヒアリング審査はWeb等による実施の場合があります。日程は決まり次第公募情報HPにて公開いたします。
- ✓ ヒアリング審査を実施する対象VCの申請者に対しては、原則としてヒアリング審査の1週間前までに電子メールにてご連絡します。ヒアリング審査の対象外の場合や、ヒアリング審査自体が実施されない場合には連絡しませんので、審査結果の通知までお待ちください。
- ✓ ヒアリング審査の対象か否かに関する個別回答はしかねます。

3. 応募手続きについて

3-1 全体スケジュール・提出期限



公募要領 7ページ



申請の意思表示
締め切り: 4月12日(火)【正午】

提案書類のアップロード
締め切り: 4月19日(火)【正午】

3-2 必要な提案書類

公募要領 7ページ

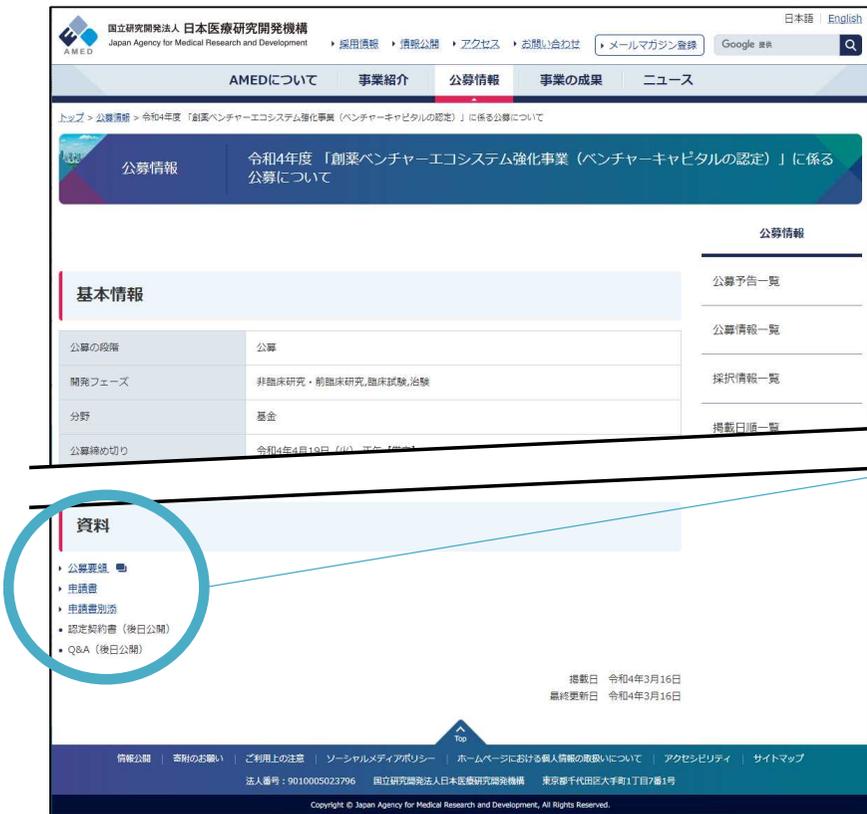
提案書類 No.	必須/任意	必要な提案書類	様式入手方法
1	必須	申請書(Word)	公募情報HP からダウンロード 
2	必須	申請書別添(Excel)	公募情報HP からダウンロード 
3	必須	定款	
4	必須	ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料	
5	任意	その他既存資料	

※ 申請書(Word)冒頭の「申請書作成にあたって」を必ずご確認ください。

3-3 申請書様式の入手方法

公募情報ホームページよりダウンロードをお願いします。
https://www.amed.go.jp/koubo/19/02/1902B_00003.html

公募要領 7ページ



基本情報	
公募の段階	公募
開発フェーズ	非臨床研究・前臨床研究、臨床試験、治験
分野	基金
公募締の切り	令和4年4月19日 (水) 正午 (東京時間)

- 公募要領
- 申請書
- 申請書別添
- 認定契約書 (後日公開)
- Q&A (後日公開)

掲載日 令和4年3月16日
最終更新日 令和4年3月16日

申請書の様式は、公募情報の末尾よりダウンロードできます。

3-4 提案書類の提出方法

公募要領 7・8ページ

1	申請の意思表示	<p>電子メールにてお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宛先 : v-eco“AT”amed.go.jp (“AT”の部分を変えてください) 件名 : 創薬ベンチャーエコシステム強化事業(ベンチャーキャピタルの認定) 本文 : ①法人名、②連絡先担当者氏名、③連絡先電話番号、④連絡先電子メールアドレス 	締め切り:4月12日(火)正午
2	アップロードテスト	AMEDより提案書類提出用のURLと共に、アップロードテストのご案内をお送りします。アップロードテストの実施をお願いします。	
3	提案書類アップロード	アップロードテスト後に、期限までに提案書類をアップロードしてください。	締め切り:4月19日(火)正午
4	受理確認のご連絡	提案書類アップロード締め切り後、提出された提案書類を受理した際に、1週間程度を目安に連絡先担当者宛に電子メールで連絡いたします。	

- ◆ 余裕を持った意思表示とアップロードをお願いします。
- ◆ アップロードしていただく提案書類は、ワードファイル「申請書」冒頭の「申請書作成にあたって」の「Ⅲ.アップロードするファイルに係るチェックリスト」に記載のzipファイルです(30MB以内)。
- ◆ ファイルにパスワードを設定しないでください。
- ◆ ファイル名は「VC22」と「_(アンダーバー)」と「(株)を除く法人名(略称可)」としてください。例:VC22_AMED.zip
- ◆ やむを得ない理由等で再提出する場合は、zipファイル名の後ろに提出回数を意味する数字(2回目:2)を付け、再度全資料を提出してください。例:VC22_AMED2.zip

3-4 提案書類の提出方法

公募要領 7・8ページ

アップロードの準備

申請の意思表示
締め切り: 4月12日正午



提案書類提出用のURLと
アップロードテストのご案内

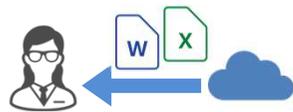


ダミーデータで
アップロードテスト

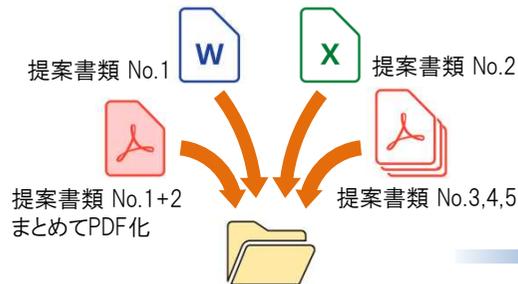


提案書類の準備とアップロード

申請書様式
ダウンロード



申請書の作成
提案書類の準備



提案書類の
ファイル圧縮(zip化)

提案書類 アップロード
締め切り: 4月19日正午



受理を
メール連絡



3-5 提案書類の受理及び申請書等に不備があった場合

公募要領 8ページ

- 提出された提案書類は返却しません。
- 期限内にアップロードを完了又はAMEDが申請を受理できなかった場合は不受理といたします。
- 応募要件を有しない者の提案書類又は不備がある提案書類は受理できません。
- 提案書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、申請を無効とさせていただきます。

※以下は現段階での予定です。後日
実施される創薬ベンチャー公募の公
募要領をご確認ください。



4. 支援対象となる創薬ベンチャー（参考）

4-1 支援対象となる創薬ベンチャー

※以下は現段階での予定です。後日実施される創薬ベンチャー公募の公募要領をご確認ください。



公募要領 9ページ

事業の支援対象

- 感染症のワクチン・治療薬の開発のための、又は将来的に感染症のワクチン・治療薬開発に転用できる可能性のある、革新的な技術開発を行うものを支援対象とします。

4-1 支援対象となる創薬ベンチャー

※以下は現段階での予定です。後日実施される創薬ベンチャー公募の公募要領をご確認ください。



公募要領 9・10ページ

創薬ベンチャーの応募要件

- 公募開始日において設立日から20年以内の未上場のベンチャー企業であること。
- 日本に登録されている民間企業であって、医薬品開発や事業活動のための拠点を日本国内に有すること(AMEDの確認を得て技術開発を海外で実施することは可能)。
- 新たな医薬品の創出に向けて、医薬品の実用化開発(前臨床～治験第2相)を行うものであること。
- 当該技術分野に関する技術開発力等の技術基盤を有し、研究開発の成果を実施するための具体的な計画を有すること。
- 創薬ベンチャーの公募〆切日の1年前から事業開始までの間に、認定 VC(リードを必ず含むこと) から補助対象費用の 1/3 以上の金額の出資を受けることが決定していること。
- 補助対象事業を的確に遂行するために必要な資金の調達が見込めること。
- 補助対象事業に係る経理その他の事務について、的確な管理体制及び処理能力を有すること。
- 技術開発の成果を事業展開に結びつけるために必要な技術経営力を有すること。
- 中小企業基本法等に定められている資本金基準又は従業員基準のいずれかを満たす中小企業者に該当する法人^{※1}であって、かつ、みなし大企業^{※2}に該当しないこと。
- 本事業に係わるメンバーに関して、前職の離職時に前職と結んだ念書・誓約書等の制限条項に抵触していないこと。
- 反社会的勢力に該当しないこと、又は反社会的勢力に係る者と関与がないこと。
- 破産、再生手続開始、特別精算又は会社更生手続開始の申立てを受けていない、かつ、していないこと。

※1,2 中小企業者の基準、及びみなし大企業の定義は、公募要領をご確認ください。

4-2 研究開発の規模・期間・採択予定数

※以下は現段階での予定です。後日実施される創薬ベンチャー公募の公募要領をご確認ください。



公募要領 10ページ

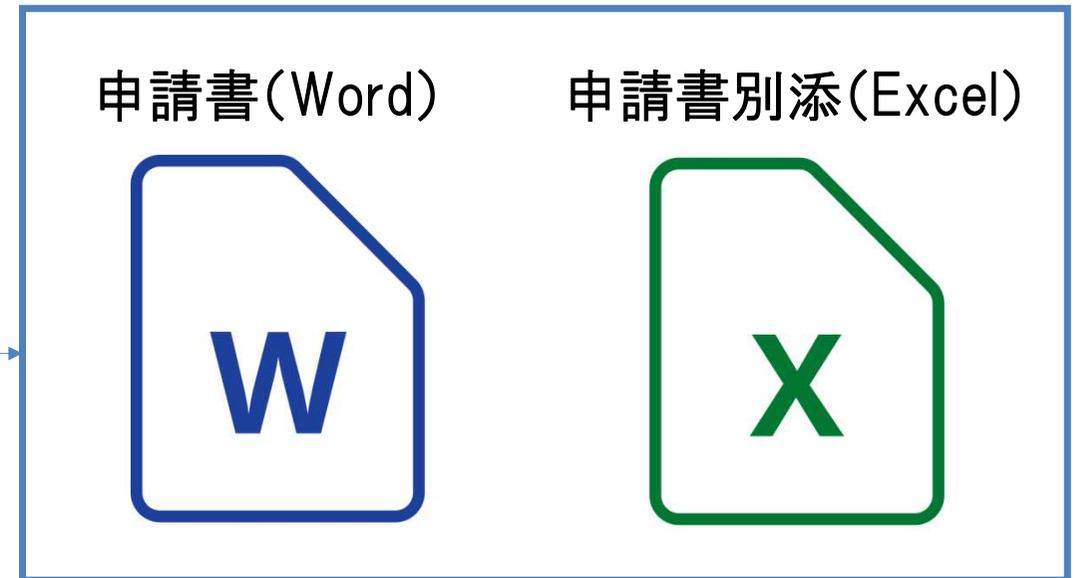
分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (補助対象経費)	事業期間	新規採択課題 予定数
感染症のワクチン・治療薬の開発のための、又は将来的に感染症のワクチン・治療薬開発に転用できる可能性のある、革新的な技術開発 (前臨床～治験第2相対象)	1課題当たり総額100億円程度 (上限を超える提案も可能)	最長令和14年3月まで (課題毎に設定)	0～10課題程度

5. 申請書の書き方

5-1 申請書様式の入手

まず公募情報ホームページより申請書様式をダウンロードしてください。

https://www.amed.go.jp/koubo/19/02/1902B_00003.html



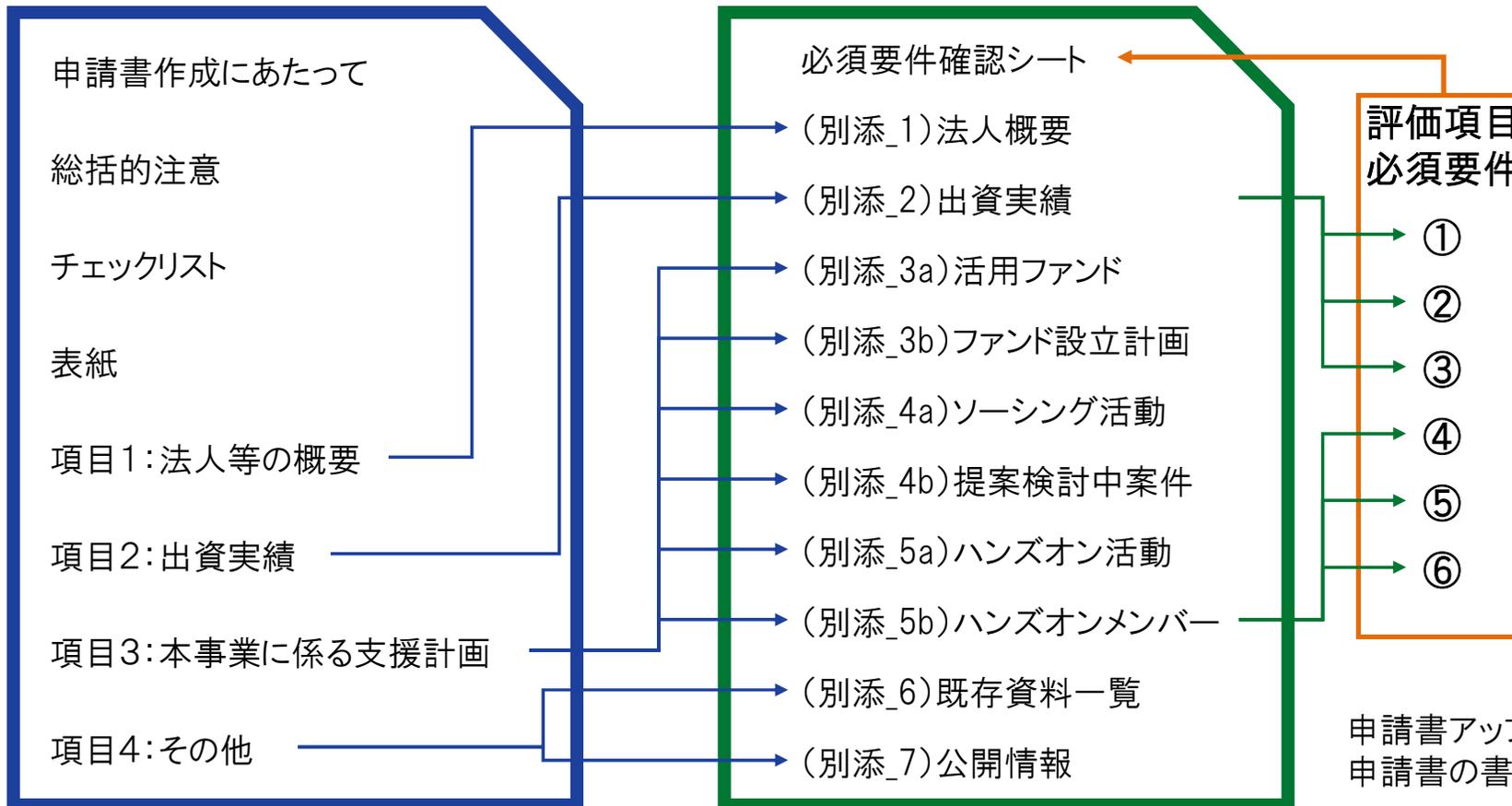
2つのファイルをダウンロードしてください。

5-2 申請書の内容

申請書 1ページ

申請書(Word)

申請書別添(Excel)



評価項目 必須要件

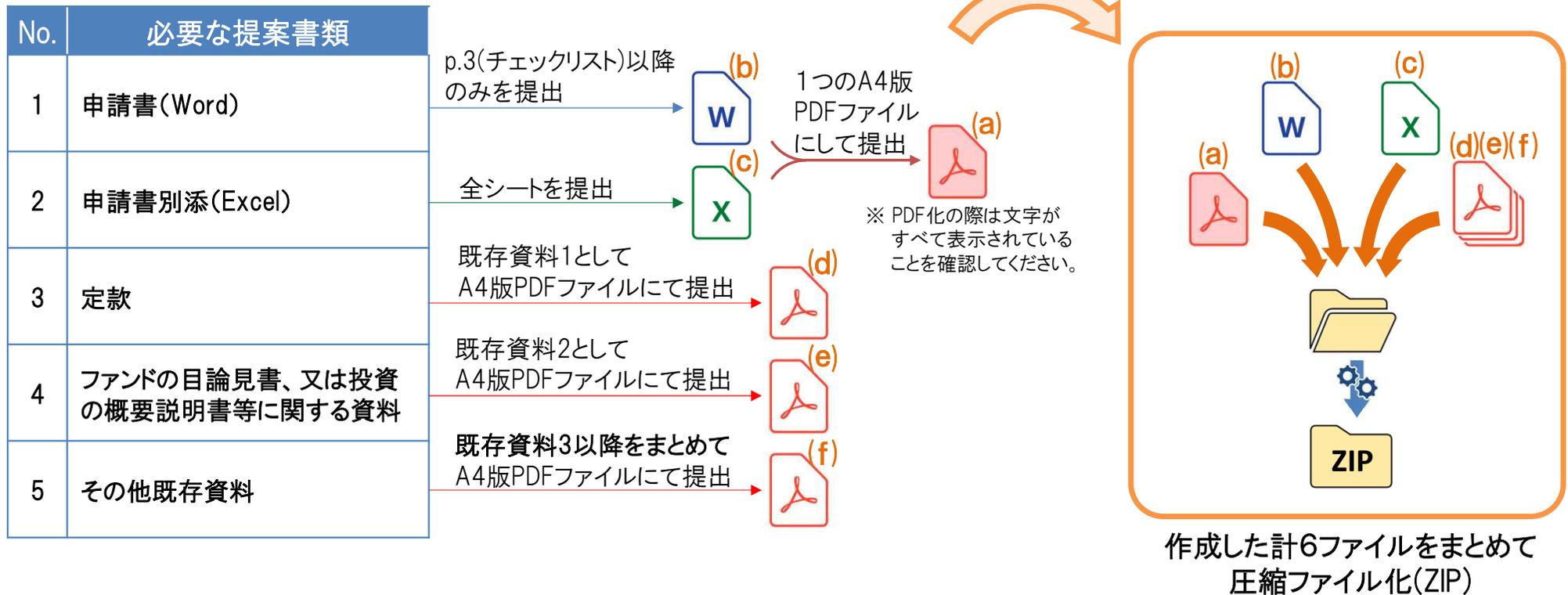
申請書(Word)・申請書別添(Excel)を基に評価を行います。

- 申請書別添(Excel)は、申請書(Word)項目1~4の記載に従って作成してください。
- 申請書別添(Excel)にある「必須要件確認シート」は、左図を参考に作成ください。

申請書アップロード用ファイルの作成方法と申請書の書き方は、次頁以降に記載します。

5-3 提案書類アップロード用ファイルの作成

下記手順にて提案書類のファイルを作成してください



5-4 申請書記載方法：チェックリスト

申請書のチェックリストをご用意しました。用意する書類の抜け漏れ確認のために作成してください。（申請書とともにこのリストもご提出ください）

申請書 3ページ

I. 申請書提出のためのチェックリスト（要提出）

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 申請書(Word)
p.3 以降のみ |  (b) | <input type="checkbox"/> 1) 申請書提出のためのチェックリスト |
| | | <input type="checkbox"/> 2) 申請書（表紙、項目 1～項目 4） |
| 申請書別添
(Excel)
全シート |  (c) | <input type="checkbox"/> 3) 申請書別添 必須要件確認シート |
| | | <input type="checkbox"/> 4) 申請書別添 (別添_1) 法人概要 |
| | | <input type="checkbox"/> 5) 申請書別添 (別添_2) 出資実績 |
| | | <input type="checkbox"/> 6) 申請書別添 (別添_3a) 活用ファンド |
| | | <input type="checkbox"/> 7) 申請書別添 (別添_3b) ファンド設立計画 |
| | | <input type="checkbox"/> 8) 申請書別添 (別添_4a) ソーシング活動 |
| | | <input type="checkbox"/> 9) 申請書別添 (別添_4b) 提案検討中案件 |
| 既存資料1 |  (d) | <input type="checkbox"/> 10) 申請書別添 (別添_5a) ハンズオン活動 |
| 既存資料2 |  (e) | <input type="checkbox"/> 11) 申請書別添 (別添_5b) ハンズオンメンバー |
| 既存資料3以降 |  (f) | <input type="checkbox"/> 12) 申請書別添 (別添_6) 既存資料一覧 |
| | | <input type="checkbox"/> 13) 申請書別添 (別添_7) 公開情報 |
| | | <input type="checkbox"/> 14) 申請書別添 (既存資料 1) 定款 |
| | | <input type="checkbox"/> 15) 申請書別添 (既存資料 2) ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料 |
| | | <input type="checkbox"/> 16) 申請書別添 (既存資料 3以降) その他既存資料一式 |

5-4 申請書記載方法：チェックリスト

作成するファイルのチェックリストをご用意しました。ファイル名も同時にご確認ください。（申請書とともにこのリストもご提出ください）

申請書 3ページ

II. 作成するファイルに係るチェックリスト（要提出）

- (a) 申請書チェックリスト：1)～13) (チェックリスト、申請書、申請書別添：必須要件確認シート・1～7) (PDF)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_申請書一式.pdf
 ※一つのpdfファイルにまとめてください。
- (b) 申請書チェックリスト：1)～2) (チェックリスト、申請書) (word)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_申請書.docx
- (c) 申請書チェックリスト：3)～13) (必須要件確認シート、別添1～7) (excel)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_申請書別添.xlsx
- (d) 申請書チェックリスト：14) (既存資料1) (PDF)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_既存資料1.pdf
- (e) 申請書チェックリスト：15) (既存資料2) (PDF)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_既存資料2.pdf
- (f) 申請書チェックリスト：16) (既存資料3以降一式) (PDF)
ファイル名：VC22_法人名(略称可)_既存資料3以降一式.pdf
 ※一つのpdfファイルにまとめてください。

III. アップロードするファイルに係るチェックリスト（要提出）

- ZIP 「II. 作成するファイルに係るチェックリスト」記載の6ファイルをまとめた zip ファイル (zip)
ファイル名：VC22_法人名(略称可).zip
 例：VC22_AMED.zip ※30MB以内に収めてください。

5-5 申請書記載方法：表紙

申請書 4ページ

【機密性2】

表紙

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
理事長 殿

2020年〇〇月〇〇日

代表申請者 〒住所
名称
代表者 役職・氏名

【創業ベンチャーエコシステム強化事業／ベンチャーキャピタルの認定
に係る申請書】

標記の件について、「創業ベンチャーエコシステム強化事業／ベンチャーキャピタルの認定」に係る公
募要領の様式に従い申請いたします。

なお、申請にあたり、以下の事項を誓約いたします。

① 公募要領の全ての記載事項及び認定契約書の内容を十分理解して、本申請を行っていること。
② 本申請書（別添及び添付資料を含みます。）の記載事項は、全て真実かつ正確であること。
③ 貴機構より認定を受ける場合には、貴機構との間で認定契約書を締結すること。

また、貴機構が、標記事項に含まれる情報について、関係者に開示を求められたときは、必要かつ相
当な範囲でこれを開示できることを了承いたします。

4

以下を誓約いただく紙面となります。

- ① 公募要領の全ての記載事項及び認定契約書の内容を十分理解して、本申請を行っていること。
- ② 本申請書（別添及び添付資料を含みます。）の記載事項は、全て真実かつ正確であること。
- ③ AMEDより認定を受ける場合には、AMEDとの間で認定契約書を締結すること

■ 認定契約書は近日中に公募情報HPに掲載予定です。
https://www.amed.go.jp/koubo/19/02/1902B_00003.html

- ✓ 申請される法人の代表者名の記載をお願いします。
- ✓ 日付は申請日（提案書類提出日）をお書きください。
- ✓ 自署ではなく、Word文書へのタイピングで構いません。

5-6 申請書記載方法：項目1：法人等の概要

申請書 5ページ

法人の情報を記載いただく項目となります。
会社紹介資料やIR資料などをそのまま添付いただいても構いません。

項目1：法人等の概要

- (1) 法人概要
「(別添_1) 法人概要」に記載してください。
- (2) 組織図
(役職、担当する分野・役割等)
(ハンズオンメンバーがわかるよう記述のこと)
(既存資料で代用する場合は、本項目と「(別添_6) 既存資料一覧」の既存資料名及び参照箇所を記述のこと)
- (3) 株主名簿
(既存資料で代用する場合は、本項目と「(別添_6) 既存資料一覧」の既存資料名及び参照箇所を記述のこと)
- (4) VCとしての特色
申請者のVCとしての特色を創業ベンチャーに対する支援戦略を中心に記載は自由記述でかまいません。
(既存資料で代用する場合は、本項目と「(別添_6) 既存資料一覧」の既存資料名及び参照箇所を記述のこと)

申請書別添(Excel)の「(別添_1) 法人概要」のシートに記載してください。

(2)組織図・(3)株主名簿・(4)VCとしての特色

- 3項目について書かれた資料を、申請書別添の「既存資料3以降」として付け、本ページにはその資料名と参照番号を記載してください。
- 該当する資料が無い場合は、当該内容を本ページへ記載してください。

「既存資料3以降」としてお持ちの資料をお出しいただく場合

- A4版のPDFファイルにてご提出ください。
- 各資料に資料名と参照番号を付けていただき、それを申請書別添(Excel)の「(別添_6) 既存資料一覧」のシートに記載してください。

※ 赤字の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。

5-6 申請書記載方法：項目1：法人等の概要

申請書 5ページ

申請書別添（別添_1）

	A	B	C	D
1	(別添_1) 法人概要			
2				
3	問い合わせ先や文書送付先として利用いたしますので、お間違いの無いように記載してください。			
4				
5	法人概要	名称		
6		法人番号		
7		代表者名	氏名	
8			役職	
9			略歴・実績	実績については、ハンズオンや投資の (既存資料で代用する場合は、本項目と 名及び参照箇所を記述のこと)
10		住所		
11		設立年月日		
12		従業員数		
13		URL		
14	事務連絡先	氏名		
15		住所		
16		電話番号		
17		E-mail		
18				
19	※ 記述欄内の青字の注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。			

(別添_1)は、法人の連絡先を記載するシートになります。
公募締め切り後のAMEDからの連絡は、こちらの連絡先を使用いたします。

5-7 申請書記載方法：項目2：出資実績

直近5年間の出資の実績を、申請書別添(Excel)の「(別添_2)出資実績」のシートにしたがって記載してください。

申請書 6ページ

項目2：出資実績

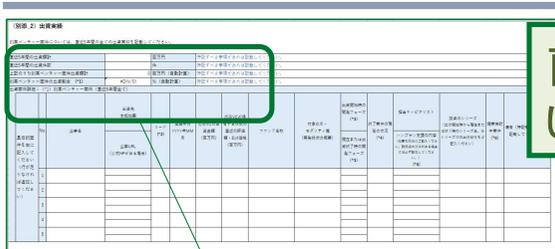
(1) 出資実績

直近5年間の出資実績について、(別添_2)の様式に従って記載してください。

※ 本ページには何も記載しないでください。

1 (別添_2) 出資実績										
2										
3 創業ベンチャー案件については、直近5年間の全ての出資実績を記載してください。										
4										
5 直近5年間の出資総計					6 百万円		7 特記すべき事項があれば記載してください。			
6 直近5年間の出資件数					7 件		8 特記すべき事項があれば記載してください。			
7 上記のうち創業ベンチャー案件出資総計					8 0 百万円 (自動計算)		9 特記すべき事項があれば記載してください。			
8 創業ベンチャー案件の出資割合 (*1)					9 #DIV/0!		10 % (自動計算) 特記すべき事項があれば記載してください。			
9 出資案件詳細：(*1) 創業ベンチャー案件 (直近5年間で)										
10 具体的な 件名右に 記入して ください (行が足 りなけれ ば追加し てくださ い)	11 No.	12 企業名	13 出資先 所在地		14 リード (*2)	15 出資年月 YYYYMM 月	16 出資額 (百万円)	17 応募VCの出 資する株式 連年の呼称 ・Exit価格 (百万円)	18 ファンド名称	19 対象疾患・ モダリティ等 (開発技術の概要)
			13 企業URL (公式HPがある場合)							
	1									
	2									
	3									

5-7 申請書記載方法：項目2：出資実績



直近5年間の創薬ベンチャー案件の出資実績について記載してください。

申請書 6ページ

申請書別添 (別添_2)

(別添 2) 出資実績							
創薬ベンチャー案件については、直近5年間の全ての出資実績を記載してください。							
直近5年間の出資額計		百万円		特記すべき事項があれば記載してください			
直近5年間の出資件数		件		特記すべ			
上記のうち創薬ベンチャー案件出資額計		0 百万円 (自動計算)		特記すべ			
創薬ベンチャー案件の出資割合 (*1)		#DIV/0!	% (自動計算)	特記すべ			
出資案件詳細： (*1) 創薬ベンチャー案件 (直近5年間全)							
具体的案	No.	企業名	リード (*2)	出資年月 YYYY年MM 月	応募VCの出 資金額 (百万円)	応募VCが保 有する株式の 直近の評価 額・Exit価格	ファン

上部(行5,6)には、5年間の累計を記載してください。

この欄は、H列「出資金額」の合計額となっていることをご確認ください

評価項目必須要件①の確認箇所となります。
1/3以上かをご確認ください。

5-7 申請書記載方法：項目2：出資実績

図表 2) 出資実績

直近5年間の創業ベンチャー案件の出資実績について記載してください。

No.	企業名	出資先 本拠地国	リード (*2)	出資年月 YYYY年MM 月	応募VCの出 資金額 (百万円)	応募VCが保 有する株式の 直近の評価 額・Exit価格 (百万円)	ファン
1							
2							
3							

直近5年間の創業ベンチャー案件の出資実績について記載してください。

申請書 6ページ

申請書別添 (別添_2)

出資案件詳細： (*1) 創業ベンチャー案件 (直近5年間全て)

No.	企業名	出資先 本拠地国	リード (*2)	出資年月 YYYY年MM 月	応募VCの出 資金額 (百万円)	応募VCが保 有する株式の 直近の評価 額・Exit価格 (百万円)	ファン
		企業URL (公式HPがある場合)					
1							
2							
3							

出資先の企業毎に詳細を記載してください。

申請される法人が出資した金額、保有する株式の分のみを記載してください

5-7 申請書記載方法：項目2：出資実績

図表 2) 出資実績

直近5年間の創薬ベンチャー案件の出資実績について記載してください。

出資年月	出資額	出資先	出資目的	出資形態	出資開始時の開発フェーズ	出資終了時の開発フェーズ	担当キャピタリスト	投資のシリーズ	提案検討中案件	備考
XXXX年MM	金額	VC名	VCの出資額	VC保有株式の最近の経年	対象疾患・モダリティ等	現在または出資終了時の開発フェーズ	担当キャピタリスト	投資のシリーズ	提案検討中案件	備考

直近5年間の創薬ベンチャー案件の出資実績について記載してください。

申請書 6ページ

申請書別添 (別添_2)

リード (*2)	出資年月 YYYY年MM	応募VCの出資額	応募VCが保有する株式の最近の経年	対象疾患・モダリティ等 (開発技術の概要)	出資開始時の開発フェーズ (*3)	現在または出資終了時の開発フェーズ (*3)	担当キャピタリスト	投資のシリーズ (出資開始時から現在または終了時のシリーズ名、各シリーズでの出資額等をご記入ください)	提案検討中案件 (*6)	備考 (特記事項があれば記載してください)
リード (*2)	出資年月 YYYY年MM	応募VCの出資額	応募VCが保有する株式の最近の経年	対象疾患・モダリティ等 (開発技術の概要)	出資開始時の開発フェーズ (*3)	現在または出資終了時の開発フェーズ (*3)	担当キャピタリスト	投資のシリーズ (出資開始時から現在または終了時のシリーズ名、各シリーズでの出資額等をご記入ください)	提案検討中案件 (*6)	備考 (特記事項があれば記載してください)

出資の過程でリードに変更があった場合は、その内容を備考に記載してください。

評価項目必須要件②の確認箇所となります。リードVCとして治験を含む開発フェーズを通っているものがあれば、必ず記載してください。

評価項目必須要件③の確認箇所となります。リードVCとして取締役を派遣したことがあるか、ハンズオン支援の内容を記載したか、をご確認ください。

5-8 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(1)(2)

申請書 7ページ

活用されるファンドの詳細を、申請書別添(Excel)の「(別添_3a)活用ファンド」「(別添_3b)ファンド設立計画」のシートにしたがって記載してください。

項目3：本事業に係る支援計画

【注意1：活用ファンドについて】

※認定 VC として活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、(別添_3a)に記載のファンドより投資することを求めます。
 ※本事業に係る案件をここに記載のないファンドより投資する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。

【注意2：ハンズオンメンバーについて】

※認定 VC として活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、(別添_5b)に記載のメンバーを主たるハンズオンメンバーとして指名することを求めます。
 ※本事業に係る案件をリストにないメンバーが担当する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。

(1) 活用ファンド

本事業に活用する可能性のあるファンドのうち出資期間が終了していないもの、及び、(別添_2)で記載したファンドについて、(別添_3a)の様式に従い記載してください。

- ・ 1 ファンドあたり 1 枚を用いて記載してください。
- ・ 設立前のファンドでも(別添_3a)に記載可能な程度まで設計が進んでいるものは(別添_3a)の様式を用いて情報提供してください(未定の部分はその旨記載してください)。

(2) ファンド設立計画

今後設立する予定のファンドについて計画がありましたら(別添_3b)の様式に記載してください。

A B C D E F G						
1 (別添_3a) 活用ファンド						
2						
3 認定期間中に本事業に活用する可能性のあるファンドのうち、投資期間が終了していないもの、および(別添_2)で記載した全について						
4 該当するファンドが複数ある場合は、本シートをコピーしてファンド毎に記載してください						
5 設立前のファンドでも本様式に記載可能な程度まで設計が進んでいるものは本様式を用いて情報提供してください(未定の部分はその旨記載						
6 【注意】						
7 ※認定VCとして活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、ここに記載のファンドより投資することを求めます。						
8 ※本事業に係る案件をここに記載のないファンドより出資する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。						
9						
10 ファンド名						
11 ファンド規模						
12 対象出資領域						
13 ファンド期間			14 開始時期	15 終了時期	16 運用期間	17 備考
18 ファンドの目的				19 対象とする事業領域、ステージ、その他特筆すべきファンドの特徴に		
17 資金				18 金額(百万円)	19	20 備考
19 出資業種		20 全体		21		
20		うち、創業ベンチャー案件				
21 出資余力(額)		全体				

A B C D			
1 (別添_3b) ファンド設立計画			
2			
3 今後設立する予定のファンドについて計画がありましたらここに記載してください。			
4			
5			
例1：既存の1号ファンド後継の2号ファンドを2024年設立で計画。ファンド規模：●●●百万円でxxx領域の技術を持つ△△△ステージの企業を中心に出資予定。			

5-8 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(1)(2)

今回活用する可能性のあるファンドの詳細を、シートの表に従って記載してください

申請書 7ページ

申請書別添 (別添_3a)

ファンド名		ファンド番号	
認定期間中に本事業に活用する可能性のあるファンドのうち、投資期間が終了していないもの、および(別添_2)で記載した全てについて、1件ごと記載してください。該当するファンドが複数ある場合は、本シートをコピーしてファンド毎に記載してください。設立前のファンドでも本形式に記載可能な程度まで設計が進んでいるものは本形式を用いて情報提供してください(未定部分はその旨記載してください)。		0	
【注意】 ※認定VCとして活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、ここに記載のファンドより投資することも求めます。 ※本事業に係る案件もここに記載のないファンドより出資する必要がある際は、その旨の申請を裏し、申請に対し回答を要する場合があります。			
ファンド名			
ファンド形態			
対象出資領域			
ファンド期間	開始時期	終了時期	備考
	運用期間		
ファンドの目的	対象とする事業領域、ステージ、その他特筆すべきファンドの特徴について簡潔に記載してください。		
出資	出資実績	金額(百万円)	備考
	出資金力(額)		
投資指標	IRR (Internal Rate of Return)		備考(算出方法、企業価値算定、その他) ※算出方法は申請者が用いている方法で結構です。
	DPI (Distributed to Paid in)		
	RVPI (Residual value to Paid in)		
LPリスト	順位	名称	比率(%)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
海外LPリスト	名称	金額(百万円)	本拠地のある国/地域
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
その他			

認定期間中に本事業に活用する可能性のあるファンドのうち、投資期間が終了していないもの、および(別添_2)で記載した全てについて、1件ごと記載してください。

※該当するファンドが複数ある場合は、本シートをコピーしてファンド毎に記載してください

該当しない箇所以外は、未記入が無いようご注意ください

5-8 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(1)(2)

今後設立する予定のファンドについて計画がありましたら記載してください

申請書 7ページ

申請書別添 (別添_3b)

A	B	C
1	(別添_3b) ファンド設立計画	
2		
3	今後設立する予定のファンドについて計画がありましたらここに記載してください。	
4		
5	1	例1：現行の1号ファンド後継の2号ファンドを202*年設立で計画。 ファンド規模：●●●百万円でxxx領域の技術を持つ△△△ステージの企業を中心に投資する。
6	2	例2：現状具体的計画はないが、弊社ではx年毎を目安にファンドを設立する計画を持つ。
7		
8	※ 記述欄内の青字の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。	
9		

設立する予定のファンドがない場合は、本シートは記入不要です

5-9 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(3)(4)

申請書 7ページ

ソーシング活動とハンズオン活動について、申請書別添(Excel)の(別添_4a)(別添_4b)(別添_5a)(別添_5b)シートにしたがって記載してください。

- ・ (別添_4a)ソーシング活動
- ・ (別添_4b)提案検討中案件
- ・ (別添_5a)ハンズオン活動
- ・ (別添_5b)ハンズオンメンバー

(3) 創業ベンチャーへのソーシング

(a) ソーシング活動

貴社のソーシング活動について (別添_4a) に記載してください。

(b) 出資検討中案件

本事業に提案の可能性のある創業ベンチャーに出資を検討している/出資を行った案件があれば (別添_4b) の様式を用い記載してください。

(4) 創業ベンチャーに対するハンズオン体制

(a) ハンズオン活動

貴社のハンズオン活動について、(別添_5a) の様式の各欄に以下の各活動内容を記載してください。

① ハンズオン活動

・ 『①ハンズオン活動』の欄に、貴社が主に行っているハンズオン活動に該当する項目について記載してください。

② 本事業に係るハンズオンメンバーの人数

・ 『③本事業に係るハンズオンメンバーの人数』の欄に、貴社に所属するハンズオンメンバーのうち、認定期間中に本事業への提案の可能性のある創業ベンチャーを担当するハンズオンメンバーの人数を記載してください。

(b) ハンズオンメンバー

本事業に係るハンズオンメンバーそれぞれについて、(別添_5b) の様式を用い、一人あたり一枚を用い略歴を記載してください。

(別添_4a) ソーシング活動

貴社のソーシング活動について以下に記載してください。

(別添_4b) 提案検討中案件

貴社で本事業への提案を検討している案件について記載してください。

(別添_5a) ハンズオン活動

①ハンズオン活動

(別添_5b) ハンズオンメンバー

本事業に応募する創業ベンチャーを担当する可能性のあるハンズオンメンバーについて、以下のシ複数のメンバーが担当する可能性のある場合は、本シートをコピーして一人ずつ記載してください
【注意】
※認定VCとして活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、(別添_5b)に記
※本事業に係る案件をリストにないメンバーが担当する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、

No.	複数のメンバーを記載する場合は、1から付番してください。
役職・氏名	
職歴	(自由記述) VCでの勤務経験、製薬企業での勤務経験、海外企業での勤務 (既存資料で代用する場合は、本項目と「(別添_6) 既存資料
活動拠点	住所・拠点名称

5-9 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(3)(4)

ソーシング活動について、シート内の青字の注意書きに従って記載してください。

申請書 7ページ

申請書別添（別添_4a）

(別添_4a) ソーシング活動	
貴社のソーシング活動について以下に記載してください。	
ソーシング活動概要紹介	貴社の特色を中心に、ソーシング活動についてご紹介ください。創薬分野に特化したもの（客員起業家制度、人材育成プログラム、ウェットラボ、貸しオフィスの提供なども含む）
注目する疾患・モダリティ等	貴社が重点的にソーシングを試みる創薬分野の疾患、モダリティ、開発フェーズ等があれば記載してください。
重視する点	貴社が前臨床～第Ⅱ相期の創薬ベンチャーに対しソーシングにおいて重視する点を記載してください。

貴社の特色を中心に、ソーシング活動についてご紹介ください。創薬分野に特化したものがあればそれがわかるように記載してください。
(客員起業家制度、人材育成プログラム、ウェットラボ、貸しオフィスの提供なども含む)

貴社が重点的にソーシングを試みる創薬分野の疾患、モダリティ、開発フェーズ等があれば記載してください。

貴社が前臨床～第Ⅱ相期の創薬ベンチャーに対しソーシングにおいて重視する点を記載してください。

5-9 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(3)(4)

出資中もしくは出資検討中の創薬ベンチャーで、本事業：創薬ベンチャーエコシステム強化事業へ提案の可能性のある企業について記載してください。

申請書 7ページ

申請書別添（別添_4b）

(別添_4b) 提案検討中案件

貴社で本事業への提案を検討している案件について記載してください。
 (実名を記載できない事情のある場合は創薬ベンチャー名称は匿名(事業者等)でも結構です。)
 (別添_2)と一致するように記載してください。

案件数	件			
詳細	創薬ベンチャー名称	疾患・モダリティ等 開発技術の概要	現在の開発フェーズ	検討状況* (出資額等)
(行が足りなければ追加してください)	1			
	2			
	3			

*社内での出資検討状況、あるいは事業者に課す条件を記載してください。
 *新たなファンド活用の可能性がある場合などがあれば記載してください。

実名を記載できない事情のある場合は、匿名でも結構です。

5-9 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(3)(4)

ハンズオン活動について、シート内の青字の注意書きに従って記載してください。

申請書 7ページ

申請書別添（別添_5a）

(別添_5a) ハンズオン活動	
①ハンズオン活動 貴社のハンズオン活動について以下に記載してください。	
ハンズオン活動詳細	貴社の特色を中心に、ハンズオン活動についてご紹介ください。 例：経営支援、人材支援、製薬企業等の販路紹介、海外協業先紹介など。 場合は、その点についても記載してください。
重視する点	事業者が成長し次ステージに進み、Exitを目指すために貴社が事業者に特に どうそれを支援していくかの施策を記載してください。 また、支援を継続するかどうかの判断において貴社が重視している点を記載
②本事業に係るハンズオンメンバーの人数	
人	

貴社のハンズオンの特色が分かるように記載してください。

5-9 申請書記載方法：項目3:本事業にかかる支援計画(3)(4)

本事業に応募する創薬ベンチャーを担当する可能性のあるハンズオンメンバーについて、詳細をシートの表に従って記載してください。

申請書 7ページ

申請書別添 (別添_5b)

(別添_5b) ハンズオンメンバー

本事業に応募する創薬ベンチャーを担当する可能性のあるハンズオンメンバーについて、以下のシートに記載してください。
複数のメンバーが担当する可能性のある場合は、本シートをコピーして一人ずつ記載してください。

【注意】
※認定VCとして活動する期間中申請者が支援する本事業に係る案件に対しては、(別添_5b)に記載のメンバーを主たるメンバーとして記載してください。
※本事業に係る案件をリストにないメンバーが担当する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。

No.	複数のメンバーを記載する場合は、1から付番してください。必須要件確認シートの「投資の意思決定を行うメンバーのリスト」の番号と一致させてください。		
役職・氏名			
職歴	(自由記述) VCでの勤務経験、製薬企業での勤務経験、海外企業での勤務経験等 (既存資料で代用する場合は、本項目と「(別添_6) 既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)		
活動拠点	住所・拠点名称		
	電話番号		
	e-mail		
投資の意思決定 (*1)	意思決定の有無	投資の意思決定を行うメンバーでもある場合は「○」	
	担当案件数	全ての案件数	●件
		投資後一定期間が経過し、順調に事業が進行しているなど、ハンズオン支援の必要性が低くなっている案件を除いた案件数	●件
メンバーのこれまでの実績と今後の参画方針 (*2)	(自由記述) 下記観点を踏まえて、各メンバーで具体的に記述してください。 (例) ・これまでの個人としての事業化支援実績 ・創薬ベンチャーに対するハンズオン実績があれば記述してください。		

※ 複数のメンバーが担当する可能性のある場合は、本シートをコピーして一人ずつ記載してください。

この項目で必須要件④を確認させていただきます

これらの項目で必須要件⑤⑥を確認させていただきます
該当する内容については、詳細に記載してください

5-10 申請書記載方法：項目4:その他

申請書 8ページ

既存資料1, 既存資料2, 既存資料3以降 について、その内訳を申請書別添(Excel)の(別添_6)へ記載してください。

貴社の機関名・連絡先・担当者を、申請書別添(Excel)の(別添_7)へ記載してください。

項目4：その他

既存資料1, 既存資料2 は、添付が必須の資料となります

- (1) 既存資料一覧
参照する既存資料のリストを(別添_6)に記載してください。
既存資料1(定款)、既存資料2(ファンド目論見書、又は投資の概要説明書)は必ず添付ください。
既存資料3以降は、必要に応じてその他参照する既存資料を添付ください。なお、添付いただく既存資料には、参照番号を明記してください。
- (2) AMED認定VC一覧における公開情報
審査の結果、認定となりました場合には、一覧として(別添_7)に記載いただいた情報をAMEDホームページ等で公開する予定です。記入いただいた内容またはその一部は、認定の公表と同時にそのままホームページ等へ掲載する可能性があります。

認定後に公開される連絡先・担当者となります。

A	B	C
1 (別添_6) 既存資料一覧		
2		
3 参照する既存資料のリストを作成ください。		
4 「既存資料1, 2」は必ず添付ください。「既存資料3」以降は、必要に応じてその		
5 なお、添付いただく既存資料には、参照番号を明記のこと。		
6		
7 参照番号	既存資料名	参照箇所(ページ数)
8 既存資料1	定款	
9 既存資料2	ファンド目論見書、又は投資の概要説明書	
既		
1 (別添_7) 公開情報		
2		
3 審査の結果、認定となりました場合には、一覧として以下の情報をAMEDホー		
4 記入いただいた内容またはその一部は、認定の公表と同時にそのままホームペ		
5		
6 認定VC機関名	連絡先	担当者
(記述例)	〇〇〇〇@xxx.co.jp	
〇〇〇株式会社	または問合せ入力フォー	〇〇 〇〇
	ムのURL等	
7		

5-10 申請書記載方法：項目4：その他

申請書 8ページ

申請書別添（別添_6）

既にお持ちの資料を提出される場合

- 申請書別添(Excelファイルの様式)の、「(別添_6)既存資料一覧」のシートに、提出される資料を記載してください。

(別添_6) 既存資料一覧

参照する既存資料のリストを作成ください。

「既存資料1, 2」は必ず添付ください。「既存資料3」以降は、必要に応じてその他参照する既存資料を添付ください。
 なお、添付いただく既存資料には、参照番号を明記のこと。

参照番号	既存資料名	参照個所(ページ数・行数、等)、補足等
既存資料1	定款	
既存資料2	ファンド目録目書 又は投資の概要説明書	
既存資料3	○○○○	(記述例) ・申請書p5、10~13行目：(補足説明) ・申請書別添p10、20行目：(補足説明)

参照番号として3以降の通し番号(3,4,5...)を付番してください。

どの項目の説明資料かを記載してください。

5-10 申請書記載方法：項目4:その他

審査の結果、認定となりました場合には、一覧として以下の情報をAMEDホームページで公開する予定です。

記入いただいた内容またはその一部は、認定の公表と同時にそのままホームページへ掲載する可能性があります。

申請書 8ページ

申請書別添（別添_7）

	A	B	C	D
1	(別添_7) 公開情報			
2				
3	審査の結果、認定となりました場合には、一覧として以下の情報をAMEDホームページで公開する予定です。			
4	記入いただいた内容またはその一部は、認定の公表と同時にそのままホームページへ掲載する可能性があります。			
5				
6	認定VC機関名	連絡先	担当者	事務方針・伝達事項等
7	(記述例) 〇〇〇株式会社	〇〇〇〇@xxx.co.jp または問合せ入力フォームのURL等	〇〇 〇〇	事業概要、提供可能なハンズオン、投資対象テーマ、URL等、応募を検討している創業ベンチャーにお伝えしたい事項をご記載ください(400字程度を目安)。

5-11 申請書記載方法：必須要件確認シート

評価項目 必須要件①～⑥を確認するシートとなります

申請書別添 必須要件確認シート

必須要件確認シート 法人名称（自動入力）： 0

公募要領「4.（2）評価項目」の必須要件①～⑥について、以下の通り確認と入力をお願いします。

① 直近5年間でVCとしての全投資金額のうち、1/3以上を創薬分野に投資していること。
シート「(別添_2) 出資実績」のセルE5, E7, E8から参照（自動入力）しております。

直近5年間の出資額計		0	百万円
上記のうち創薬ベンチャー案件出資額計		0	百万円
創薬ベンチャー案件の出資割合	#DIV/0!		%

② リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーが行う治験を支援した実績があること。
実績がある場合にはその創薬ベンチャーの企業名と、シート「(別添_2) 出資実績」の番号（No.）を記入してください。

No.	企業名

③ リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーに取締役を派遣した実績があること、その他、本事業の目的に則したベンチャーの成長に資する優れたハンズオン支援を行った実績があること。
実績がある場合にはその創薬ベンチャーの企業名と、シート「(別添_2) 出資実績」の番号（No.）を記入してください。

No.	企業名

④ 投資の意思決定を行うメンバー（※1）の担当案件数が、各5件以下（※2）であること。
⑤ 投資の意思決定を行うメンバー（※1）に、製薬企業等において医薬品開発を行った経験（薬事・BD（事業計画）・開発企画等）を有する人材、又は医薬品開発を進める上で重要な経験（PMDA、FDA等の機関における審査等）を有する人材がいること。
⑥ 投資の意思決定を行うメンバー（※1）に、グローバルでの医薬品開発に携わった経験（グローバルでの治験を行った経験、グローバルでの治験をハンズオン支援した経験等）を有する人材がいること。
（※1）ジェネラル・パートナー、パートナー等
（※2）投資後一定期間が経過し、順調に事業が進行しているなど、ハンズオン支援の必要性が低くなっている案件は除く。
必須要件④～⑥に該当するメンバーを、(別添_5b) ハンズオンメンバーのNo. と共に記入してください。
必須要件④については件数を、必須要件⑤⑥については「○」を記入してください。

No.	氏名	必須要件④	必須要件⑤	必須要件⑥
	○○ ○○	●件		
	○○ ○○	●件		
	○○ ○○	●件		

(別添_2)を入力すると自動で計算されます。(追記不要)

必須要件②を満たすことを示す創薬ベンチャー企業の名前と番号を、(別添_2)の「出資案件詳細」と対応させて記入してください。

必須要件③を満たすことを示す創薬ベンチャー企業の名前と番号を、(別添_2)の「出資案件詳細」と対応させて記入してください。

必須要件④⑤⑥を満たすことを示すメンバーの氏名と番号を、(別添_5b)の表と対応させて記入してください。

さらに④⑤⑥の確認結果をここへ記入してください。

6. お問い合わせ先

6. お問い合わせ先

- 公募要領の記載内容について疑問点等が生じた場合には、次表に示す連絡先にお問い合わせください。

照会内容	連絡先
公募、評価、提案書類の記載方法等	AMED実用化推進部 研究成果展開推進課 E-mail: v-eco"AT"amed.go.jp ※ メール の 件名 は「創薬ベンチャーエコシステム強化事業(ベンチャーキャピタルの認定)に係る問い合わせ」とし、本文内に回答先(法人名、担当者のお名前・電話番号・電子メールアドレス)を明記して下さい。
不正行為・不正使用・不正受給	AMED研究公正・業務推進部 研究公正・法務課 E-mail: kouseisoudan"AT"amed.go.jp
利益相反管理	AMED研究公正・業務推進部 研究公正・法務課 E-mail: kenkyuukousei"AT"amed.go.jp

※ お問い合わせは電子メールでお願いします（上表アドレス"AT"の部分をもに@に変えてください）。
お電話でのお問合せはお受けしていません。

※ お問い合わせのみでは申請の意思表示とはなりませんのでご注意ください。

- 情報の更新がある場合はAMEDウェブサイトの公募情報に掲載しますので、併せて参照してください。
(https://www.amed.go.jp/koubo/19/02/1902B_00003.html)



国立研究開発法人 **日本医療研究開発機構**
Japan Agency for Medical Research and Development